

列島・北から南から

▽青森隕石を常設展示

青森市に落下した隕石(いんせき)を、県立郷土館(青森市)が常設展示している。青森隕石と呼ばれ、重さ約135kg。1984年6月30日に市内の印刷所に落下、国立科学博物館が隕石と確認した。

ロシアへの隕石落下で注目が集まっていると思いきや「思ったほど来館者が伸びない」と担当者。「宇宙に興味を持つきっかけになる」と話している。

(青森)

▽深海の生きものが人気

千葉県勝浦市の県立中央博物館分館「海の博物館」で始まった企画展「深い

海に暮らす生きものたち」が人気だ。

企画展では、混獲された深海魚のほかタカアシガニや、山口県で海岸に打ち上がった体長2.7mのダイオウイカの標本も展示する。月曜休館で5月6日まで。

(千葉)

▽富山に「恋人の聖地」

富山県射水市の「海王丸パーク」が、静岡市のNPO法人「地域活性化支援センター」によりデートにふさわしい場所「恋人の聖地」に選ばれた。

立山連峰を背景とした眺めや、帆船「海王丸」などを彩る夜のイルミネーションが魅力的なため。問い合わせは伏木富山港・海王丸財団＝電話0766(82)5181。

(富山)

▽日本酒女子利き酒リーグ

松江市の社会福祉法人「ふらっと」は、島根県の日本酒をPRしようと、1月か